

5月8日(金)

プログラム会場

教育講演 1

ホテルコレクティブ 2階 中宴会場 C 16:30～17:20

「チームビルディングに役立つ臨床倫理」

座長：高木 誠司（福岡大学医学部形成外科学教室 教授）

演者：金城 隆展（琉球大学病院 地域・国際医療部 特命助教（臨床倫理士））

スペシャルセミナー

ホテルコレクティブ 2階 中宴会場 C 17:30～18:20

「難治性褥瘡治療へ：リジェネラマイクログラフトの応用」

座長：上村 哲司（純真学園大学医療工学科（前佐賀大学形成外科））

「リジェネラマイクログラフトが支える創傷治療戦略

— 低侵襲・ADL維持をかなえる選択肢 —

演者：馬場 香子（北里大学メディカルセンター 形成外科、
北里大学医学部 形成外科・美容外科学）

「難治性潰瘍の新しい治療法 - リジェネラマイクログラフトの可能性」

演者：上原 幸（大分大学医学部附属病院 形成外科）

共催：TMSC 株式会社

5月9日(土)

A会場

シンポジウム

会議棟 A 会議場 A1 10:00～11:30

「現場を動かすチーム作り～主役は私達だ～」

座長：久場 良吾（ライフスタイルクリニック Lokahi 院長）

「主役は看・介・家へー在宅褥瘡を支える医師の姿勢とチーム構築の在り方」

シンポジスト：久場 良吾（ライフスタイルクリニック Lokahi 院長）

「離島病院における看護管理者主導のチームづくり

ー「一人 WOCN」から「全員スキンケアナース」への転換ー」

シンポジスト：外間美千代（医療法人徳洲会 宮古島徳洲会病院 看護部長）

「退院後の褥瘡再発予防を目的とした移行期ケアの実践」

シンポジスト：山下真里菜（社会医療法人敬和会 大分岡病院 看護部 特定行為看護師）

「SNS・オンラインを活用した、地域の枠組みに収まらない新しい WOCN の在り方」

シンポジスト：藤平 舞（Nurse Wocry 代表、皮膚・排泄ケア特定認定看護師）

ランチオンセミナー 1

会議棟 A 会議場 A1 11:55～12:45

「慢性創傷へのアプローチ

～スキンケアから NPWT の最新の適応～」

座長：門田 英輝（九州大学病院 形成外科 診療教授）

「診療看護師が目指す創傷管理と特定行為」

演者：上村 哲司（純真学園大学医療工学科 特任教授）

「スキンケアから支える創傷管理 – NPWT 管理中の看護の視点–」

演者：大重まどか（九州大学病院 褥瘡対策室 皮膚・排泄ケア認定看護師）

共催：ソルベントム合同会社

特別講演

会議棟 A 会議場 A1 13:25～14:25

「地域包括ケアにおける多職種連携の展開 ゆいまーるの沖縄社会より」

座長：清水 雄介（琉球大学大学院医学研究科形成外科学講座 主任教授）

演者：高山 義浩（沖縄県立中部病院 感染症内科・地域ケア科 副部長）

スイーツセミナー 1

会議棟 A 会議場 A1 14:35 ~ 15:20

「One Team で取り組む褥瘡管理 —若手形成外科医による実践と工夫—」

座長：貴志 和生（慶應義塾大学形成外科学教室 教授）

演者：勝連今日子（沖縄協同病院 形成外科）

共催：スミス・アンド・ネフュー株式会社

会長企画

会議棟 A 会議場 A1 15:40 ~ 16:20

「医療現場におけるチームビルディング ～失敗を力に変え、一人ひとりが輝く『One Team』へ～」

座長：清水 雄介（琉球大学大学院医学研究科形成外科学講座 主任教授）

演者：上村 哲司（純真学園大学医療工学科（前佐賀大学形成外科））

溝上 祐子（東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科プライマリケア看護学領域 教授）

B会場

教育講演 2

会議棟 A 会議場 A2 10:00 ~ 10:50

「褥瘡と間違いやすい皮膚疾患」

座長：野柳 俊明（高田中央病院 皮膚科 部長）

演者：宮城 拓也（琉球大学皮膚科学教室 診療講師）

教育講演 3

会議棟 A 会議場 A2 10:50 ~ 11:40

「2026年診療報酬改定で褥瘡管理はどう変わる？ —医療機関・介護施設・在宅・地域連携—」

座長：石井 義輝（医療法人真鶴会 小倉第一病院 副院長）

演者：高水 勝（アルケア株式会社 事業管理本部）

ランチオンセミナー 2

会議棟 A 会議場 A2 11:55 ~ 12:45

「褥瘡治療における新たな選択肢 — PRP 療法による創傷治癒の可能性 —」

座長：高木 誠司（福岡大学医学部形成外科学教室 教授）

「自己由来多血小板血漿（PRP）療法を用いた難治性皮膚潰瘍の治療成績」

演者：辻 依子（大分岡病院 創傷ケアセンター副センター長 形成外科部長）

「難治性創傷治療の新たな展開 -PRP ゲルの臨床経験と褥瘡への応用可能性」

演者：鈴木翔太郎（福岡大学医学部形成外科学教室 助教）

共催：ロート製薬株式会社

教育講演 5

会議棟 A 会議場 A2 13:35 ~ 14:25

「沖縄県における皮膚科遠隔診療実装に向けた取り組みと展望」

座長：柳 輝希（琉球大学皮膚科学教室 准教授）

演者：内海 大介（琉球大学医学部先端医学研究センター

メディカル DX・医工連携分野 特命講師）

スイーツセミナー 2

会議棟 A 会議場 A2 14:35 ~ 15:20

「緊急課題 看護師の生涯年収と人生設計

～キャリアデザインの視点から考える現状・選択・未来～」

座長：石井 義輝（医療法人真鶴会 小倉第一病院 副院長）

演者：徳永ミユキ（株式会社ザ・プレゼンツポジティブパートナーズ 代表取締役）

共催：株式会社グランドコーポレーション

C会場

教育講演 4

展示場 10:50 ~ 11:40

「褥瘡ケアをもう一歩先へ～口から食べる意義を考える～」

座長：西條 広人（佐賀大学医学部附属病院 形成外科 准教授）

演者：大城 清貴（合同会社 Comer 代表）

ランチオンセミナー 3

展示場 11:55 ~ 12:45

「STOP 褥瘡発生！～スキンケアと体圧分散の最適解を探る～」

座長：嘉手川厚子（社会医療法人敬愛会 中頭病院 皮膚・排泄ケア特定認定看護師）

演者：直海 倫子（福岡大学病院 看護部 褥瘡対策室主任看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師）

共催：株式会社モルテン

スイーツセミナー 3

展示場 14:35 ~ 15:20

「臨床経験に基づく治療補助型シートマスクの可能性 —皮膚バリア機能改善と 5-ALA 応用の展望—」

座長：清水 雄介（琉球大学大学院医学研究科形成外科学講座 主任教授）

演者：野口なつ美（渋谷美容外科クリニック 新宿院 院長）

共催：ロハス・メディカル株式会社

D 会場

ハンズオンセミナー 1

会議棟 B 会議場 B2 10:00 ~ 11:30

「皮膚を守り生活を支える『優しいポジショニング』 ～困難ケースを解決に導く姿勢管理の基礎と実践ポイント～」

講師：伊藤 亮子（理学療法士 / フェルデンクライス・プラクティショナー）

共催：株式会社ケーブ

ハンズオンセミナー 2

会議棟 B 会議場 B2 13:30 ~ 15:00

「未来を拓く進化する新しい針を用いて」

講師：門田 英輝（九州大学病院 形成外科 診療教授）

清水 史明（大分大学医学部附属病院 形成外科 診療教授）

上原 幸（大分大学医学部附属病院 形成外科 診療副科長）

*クロソイド針とコンパウンド針を用いた皮膚、真皮縫合（豚皮を使用）

共催：株式会社ベアーメディック

一般演題

口演 1

C会場 展示場 10:00～10:50

「チームビルディング、多職種連携」

座長：大安 剛裕（宮崎江南病院 形成外科 部長）
増田 未散（熊本大学病院 看護部 看護師長）

01-1 伝達型から主体型へ褥瘡リンクメンバー会議進化の取り組み ～主体的なチームビルディングへの支援～

飯塚病院看護部 宮崎 操

01-2 A 大学病院の褥瘡治療におけるオンライン診療の現状と課題

福岡大学病院 看護部 富田美和子

01-3 チームで介入することで褥瘡改善に至った一症例の振り返り

医療法人光竹会ごう脳神経外科クリニック 奥村 英子

01-4 地域医療における形成外科医と皮膚・排泄ケア特定認定看護師の連携

やよいがおか鹿毛病院形成外科 原 茂

01-5 多職種連携による褥瘡発生率低減に向けた取り組み

社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院 薦野 美里

01-6 褥瘡評価指標 DESIGN-R 2020 に関連する因子の検討

医療法人財団聖十字会 西日本病院 総合リハビリテーション部 野田 香穂

口演 2

C会場 展示場 13:25～14:25

「治療」

座長：守永 圭吾（久留米大学医学部 形成外科・顎顔面外科学講座 准教授）
波多野 豊（大分大学医学部皮膚科学講座 教授）

02-1 脊椎損傷患者に生じた低温熱傷、DTI を伴う仙骨部褥瘡の 1 例

宮崎大学皮膚科 下西 広大

02-2 自己処置ができない脊髄損傷患者の右外果部褥瘡治療に難渋した 1 例

福岡青洲会病院形成外科 石田 裕之

02-3 当院における褥瘡電気治療導入のプロセス

沖縄協同病院 勝連今日子

02-4 車いすスポーツを行う患者の難治性坐骨部褥瘡に外科的加療を行った 2 例

大分大学形成外科 野中 侑紀

02-5 難治性褥瘡症例に対する Buried chip skin grafting と真皮マイクログラフトの併用療法

大分大学医学部附属病院形成外科 清水 史明

02-6 包帯褥瘡から再考する、包帯の伸縮率の比較検討

福岡大学病院形成外科 後藤 崇

02-7 慢性期病院での右下肢壊疽から脱落、断端部が上皮化した症例

以和貴会西崎病院 上原 吾一

口演 3

B 会場 会議棟 A 会議場 A2 15:30 ~ 16:20

「リハビリテーション、栄養・口腔ケア」

座長：眞榮城智子（琉球大学病院 看護部管理室 副病院長・看護部長）
山下 満博（大牟田市立病院 リハビリテーション科 理学療法士）

03-1 当院における体圧分散寝具、体圧分散具の理解度と褥瘡予防について

特定医療法人雄博会千住病院 松尾 美弥

03-2 30° ギャッジアップ問題に対する完全側臥位法を用いた在宅重度褥瘡への介入

訪問看護看護ステーションわんず 吉武 悦代

03-3 A 病棟における尾骨部褥瘡発生件数減少へ向けた取り組み

九州大学病院看護部 寺園 理佳

03-4 スモールチェンジ機能付きエアマットレス使用時のポジショニングの検討

原土井病院看護部 池田 勇人

03-5 GLIM 基準による低栄養と DESIN-R®2020 点数評価の関連

済生会飯塚嘉穂病院 坂井 瑞穂

03-6 褥瘡患者に対する全身麻酔手術周術期の口腔機能管理が術後合併症に与える影響

沖縄協同病院歯科口腔外科 小山 宏樹

「評価、予防管理」

座長：江川 形平（鹿児島大学医学部皮膚科学教室 教授）
直海 倫子（福岡大学病院 看護部 褥瘡対策室主任看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師）

O4-1 A病院における被覆材を使用した褥瘡予防対策の取り組みの効果

熊本赤十字病院 西村 奈緒

O4-2 皮膚障害危険予知トレーニングの活動報告

熊本大学病院看護部 今村 彩乃

O4-3 AmiVoice iNote® 導入による創傷回診・褥瘡評価の業務効率化と情報共有の改善

社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 松下 明美

O4-4 消化器外科病棟における褥瘡発生低減に向けた看護実践の取り組み

福岡大学病院 神崎 雅莉

O4-5 WBPの視点が根づき始めた褥瘡ケアの実践
—WOCNの介入を通してスタッフの行動変容を促した一例—

糸島医師会病院 看護部 / 糸島医師会病院脳神経内科 /
糸島医師会病院消化器外科 / みんなのクリニック 梅田真由美

O4-6 取り下げ

ポスター

P-1 フルタメソッドを用いた在宅褥瘡治療における薬剤師介入の検討

株式会社 薬心堂 坂井美千子

P-2 地域密着型急性期病院の皮膚・排泄ケア特定認定看護師の役割
～他院の形成外科医と連携し治療した褥瘡症例～

社会医療法人シマダ嶋田病院 池田 由美

P-3 骨髄炎が疑われた仙骨部ステージⅣ褥瘡患者の自宅退院支援

大分県済生会日田病院看護部 馬野 美紀

P-4 A病棟における認定看護師と創傷ケアチームとの協働を通じたポジショニングケア改善の実践報告

一般財団法人平成紫川会小倉記念病院 千北かれん

P-5	ICUにおける褥瘡対策の現状と課題ーポジショニング・予防的ドレッシング材に関する教育に焦点をあててー	琉球大学病院看護部	金城 明歩
P-6	当院での特定行為研修修了者を中心とした創傷管理体制の現状と課題	JCHO 宮崎江南病院	池田 篤志
P-7	ラウンド型褥瘡カンファレンスによる予防ケアの取り組み	琉球大学病院	上原 晃
P-8	A 病棟における 74 歳以下の新規褥瘡発生患者の要因分析と傾向	社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 看護部	山口 優
P-9	一般病棟における褥瘡リスクアセスメント評価から見えた病棟所属認定看護師としての課題	くまもと県北病院看護部	城戸 香織
P-10	褥瘡発生の減少を図るために病棟でできる予防対策について	医療法人光善会長崎百合野病院	森山 眞子
P-11	脳卒中患者における急性褥瘡症例を通しての対策と成果	済生会熊本病院	村田 悠里
P-12	急性期病棟における褥瘡発生の現状と課題	医療法人光善会長崎百合野病院	大石真奈美
P-13	褥瘡重症化を未然に防ぐ退院後訪問のあり方 ー判断基準の標準化と多職種連携フローの検討ー	医療法人聖峰会田主丸中央病院看護部	横山 絵麻
P-14	入院環境における日常生活自立度判定基準の再考と運用評価	佐賀大学医学部附属病院看護部	酒井 宏子
P-15	腹臥位脊椎手術における褥瘡発生率と関連要因 ー後方視的観察研究ー	琉球大学病院	比嘉奈津子
P-16	継続的褥瘡対策勉強会から e ラーニング展開への教育体制構築	沖縄協同病院	仲西めぐみ
P-17	創傷衛生 (Wound hygiene) の視点を取り入れて早期創閉鎖を得た糖尿病壊疽の 1 例	医療法人猪鹿倉会 パールランド病院	有村あかね
P-18	微弱電流刺激療法 (MES) により創部縮小を得た仙骨部褥瘡の 1 例	沖縄協同病院	宮城 涼

P-19 泡立つ清拭シートを用いた排泄ケアの導入効果と課題

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 砂川 悦子

P-20 仙骨部褥瘡のある四肢麻痺・脊髄損傷患者への摩擦・ずれ緩和シートを用い改善した症例

社会医療法人敬愛会中頭病院看護部 嘉手川厚子

P-21 ポケット形成した難治性褥瘡に対してフィブラストスプレーを注入したことでポケット閉鎖し治癒に至った症例

鹿児島県立大島病院 池 智代